

「2019年度 全学共通科目に関する 教育改善点」報告

2019年度に新たに行った取り組みについてのみ記載

科目・項目	改善内容	改善の動機・理由等(該当するものに○を記入してください)					
		部会等提案	授業アンケート	自治会・学生懇談会等要望	担当教員要望	事務局提案	その他
基礎ゼミナール	基礎ゼミナール懇談会の実施にあたり、授業担当者の抱える問題、疑問点を調査する事前アンケートを実施した。					○	
	基礎ゼミナールの共通ルーブリックを作成した。				○	○	
	基礎ゼミナールの到達目標を「コミュニケーション能力」、「情報活用能力」、「能動的学修姿勢」の3点に絞り込み、懇談会等で周知した。					○	○
情報科目	獲得すべき学修成果を再検討するため、カリキュラム・マップ、履修の手引、シラバスを修正した。	○			○		
	情報リテラシーの実態をより正確に把握するため、レディネス調査を改訂し、全クラスに実施した。	○	○		○		
	情報リテラシー実践I-IAで配布予定の「情報システムガイドブック」について、現状に合った情報倫理の説明を可能とするため、記載内容を見直した。					○	
実践英語	実践英語Ⅱの日本人担当クラスを中心に、人員の効果的活用とシラバス・授業内容の多様化を目指したカリキュラム変更の話し合いを開始した。						○
未修言語科目	中国語Ⅰ・中国語Ⅱ受講者を対象に、次年度における中国語の継続履修を促すため、中国語Ⅱの3クラス、および関連する学部科目(上級中国語、中国語会話、中国語作文、インテンシブ中国語、異文化研修)の授業紹介(曜日・時間・担当者・授業内容)、各授業が資格試験の4技能のどの項目に対応するかの一覧表を配布した。						○
	未修言語(独語、仏語、中国語)の海外短期語学研修が「異文化研修」として単位化されて二年目となり、今年度のガイダンスおよびオリエンテーションでは昨年度の研修参加者から得られたノウハウや情報を提供することで、より正確な説明や助言ができ、渡航する学生の不安解消と効果的な準備にもつながった。						
理系共通基礎科目							
教養・基盤科目	教養科目群及び基盤科目群の履修状況を分析し、幅広い分野を学修できる全学共通教育プログラムに関するヒアリングを実施した。					○	○
保健体育科目	学外スポーツ実習(集中)における安全管理及び保険に関するFDセミナーを企画・開催し(学外講師を招聘)、安全管理に対する意識の向上及び授業運営体制の改善に取り組んだ。				○		
	授業時の事故・怪我への対応マニュアルを改訂した。				○		
	各実技科目の成績分布を共有し、授業担当者間の成績評価の偏り改善に取り組んだ。				○		
教室設備等	1・6・11・12号館の各教室に温湿度計を設置し、教室環境の見える化を行なった。管理標準(冷房28℃、暖房20度)を基準とし、温湿度計をもとに柔軟に対応した。(施設課)		○			○	
	情報掲示板を用いて、空調の運用について周知した。(施設課)		○			○	
	学生貸出用の新しいPCが6号館のプロジェクターに対応していないことが判明したため、コネクターを整備し、授業において活用できるようにした。(教務課)				○	○	
	1号館大教室のプロジェクターを入れ替えた。(教務課)					○	
その他	試験監督補助員を中間試験でも利用できるよう運用を変更した。				○		
	新型コロナウイルスにより渡日できない新入学生が休学できる制度を新設した。(教務課)					○	